

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
日東電工株式会社 尾道事業所
- (2) 事業所の所在地
広島県尾道市美ノ郷町本郷4 5 5－6
- (3) 業種
1 6 3 5 プラスチックフィルム製造業
- (4) 事業所位置図
別添－1 のとおり

2 計画の期間

平成25年度を基準とする。
計画の期間は、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度の
3年間とする。

3 計画の基本的な方向

尾道事業所 環境方針による（別添－2）

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成25（2013）年度	直近年度 令和5（2023）年度
二酸化炭素	131,878	97,295

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス { HFC PFC SF₆ NF₃		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 8 (2026) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	131,878	30	39,734	92,144
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計	131,878	30	39,734	92,144
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	第3次広島県地球温暖化防止地域計画に沿い、令和12年比で弊社実績の平成25年度排出量131,878t-CO ₂ の39.4%改善を目標にし、年度毎に排出見込量を算出し、それを目標値として設定。			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							

目標設定の考え方	
----------	--

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	生産性向上	効果試算未定	歩留向上
2	省エネ推進	効果試算未定	老朽化更新、エネルギー見える化、 連休時の空調停止など
3	再エネ導入	効果試算未定	再エネ購入量の増加
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	VOC排出抑制	処理効率 99%	VOCガスの燃焼処理により無害化
2	炭酸ガス排出低減	990 ton-co2/年 削減 (700台)	路線バス通勤の推奨
3	産廃リサイクル	リサイクル率 60%	焼却産廃のマテリアル化

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

統括責任者	事業所長
エネルギー管理者	生産技術部 3名
設備設計	生産技術部 22名（ファシリティグループ）
事務局	環境安全部 8名（環境グループ）

(2) 実施状況の点検・評価

- ・エネルギー使用量 省エネ分科会にて報告（隔月開催）
- ・CO2排出量 環境管理委員会にて報告、省エネ法定期報告書に記載
- ・設備設計投資 発生の都度DRにて確認、事業部及び本社に答申

- (3) 計画書等の公表
事業所にて、閲覧可能